



今月新しく入りました。

●一般の本

／カルテット1 渋谷デッドエンド／カルテット2 イケニエのマチ (作=大沢在昌)／満月交感上・下～ムーンサルトレター (作=鎌田東二・一条真也)／天使の報酬 (作=真保裕一)／白いしるし (作=西 加奈子)／暴走族、絵本作家になる (作=のぶみ)／KAGE ROU (作=斎藤智裕)／東京 (作=佐藤洋二郎)

●子どもの本

／ふゆですよ (作=柴田晋吾)／あいさつ団長 (作=よしながこうたく)／こびとのくつや (作=いもとようこ)／ないたあかおに (作=浜田廣介)／よかったねネッドくん (作=レミー・シャーリップ)／いのちのまつりシリーズ (作=草場一壽)／さかさかぞくのだんなキスがスキなんだ (作=宮西達也)／おにはうち! (作=中川ひろたか)／いろいろおんせん (作=長谷川義史)

中でもこの本が **オススメ** です。

「自分ルール」でいこう

作=のぶみ



ぼくはみんなと仲良くしない。小5のぼくはカッターを取り出し死のうと決めた。生きることさえつらかった。だから、わがままになることにした。夢をかねた絵本作家のミラクルストーリー。「生きていけるのは、今だ。今が一番最高だ」という奴が地上最強なんだ。いじめ、自殺未遂、暴走族とチーマーの「総長」…絵本との運命の出会い。自分の道を信じて歩み続けられれば、誰だって輝くことができるんだ。

夢って叶うじゃん!

作=のぶみ



子どものころの夢、叶えませんか。気球に乗りたい。カブトムシを捕まえた。イルカと泳ぎたい。ツリーハウスに泊まりたい。ぞうにのりたい。屋久島の縄文杉が見たい。天の川が見たい。大きな木に登りたい。絵本作家になりたい。人気絵本作家ののぶみさんが描く、体験型エッセイ。



床下の小人たち

訳=林 容吉

イギリスの古い屋敷の床下に住む少女アリエッティ一家。借り暮らしと言えど、床上に住む人間の食料を失敬してきたり、ちよつとした小さな品物を自分たちのすみか(床下)に運び込みの生活。小さい人なりの道具の工夫は、**イ**ギリスの古い屋敷の床下に住む少女アリエッティ一家。借り暮らしと言えど、床上に住む人間の食料を失敬してきたり、ちよつとした小さな品物を自分たちのすみか(床下)に運び込みの生活。小さい人なりの道具の工夫は、



いちごばたけのちいさなおばあさん

作=わたりむつこ

今ではいちごはハウス栽培がほとんどで、ほんとのイチゴは、外気の振りに育ち、色づきながら熟す。4月の小学校での読み聞かせのとき、一冊です。いちご畑の土の下に住んでいるちいさなおばあさんの仕事は、いちご雪をうさぎが…

春の桜、夏の花、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は石橋洋美さん(いずみ読書会)です。



調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番



ADVICE Health



どんな医療機関で乳がん検診を受けたらよいのでしょうか。(40歳・女性)

日本の死亡原因の第1位はがんです。とくに女性では乳がんの死亡数が増加しています。しかし、早期の乳がんは発見される可能性が高く、早期では9割以上が治るがんといわれています。早期発見のためにも乳がん検診を受けましょう。

【乳房の構造】

乳房は乳腺組織（お乳を作る組織やお乳をそこから乳頭まで運ぶ管）と柔らかい脂肪でできており、乳がんはその乳腺組織から発生します。

【乳がん検診】

乳がん検診は、国の指針として、40歳以上で隔年に1回の受診を推奨しています。検診の内容は、問診、視触診、乳房X線検（マン



モグラフィです。

胸の写真や骨を撮っている普通のX線装置では、装置の特性から乳腺組織に隠れた乳がんを写し出すことはできません。そのため、専用のX線装置が必要になるとともに、乳がんはマンモグラフィでなければ見つけることができません。また、装置を使って隠れた乳がんを写し出せる技術を持った診療放射線技師やその差を写真から乳がんを読み取ることでできる医師も必要となります。

◆乳がん検診は、次のような条件を満たした医療機関をお勧めします。

- ①マンモグラフィ専用のX線装置を持っていること
- ②検診マンモグラフィ読影認定医師がいること
- ③検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師・医師がいること
- ④マンモグラフィ検診施設画像認定施設であること
- ⑤乳腺エコー検査を併用していること

(マンモグラフィ検診精度管理委員会：<http://www.mammography.jp/>を参照)

乳がん検診をお勧めできる医療機関には条件がありますので、事前に確認し受診することを勧めします。



【アドバイザー】

仲野 秀さん・なかのしゅう 昭和61年産業医科大学医学部を卒業後、東北労災病院や産業医科大学病院、門司労災病院、北九州市立戸畑病院勤務を経て、平成14年4月から町立病院外科に勤務。日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器専門医、検診マンモグラフィ読影認定医。50歳。

休日乳がん検診のお知らせ

町立病院では、次のとおり休日乳がん検診を行います。

- とき 2月20日(日) 午前9時から午後4時まで
- 対象者・定員 40歳以上の人・20人(隔年受診)
- 予約受付期間 2月7日(月)から18日(金)まで
- 料金 ①町内にお住まいの人は600円 ②乳がん検診無料クーポン券をお持ちの人は無料③生活保護受給者は無料(診療依頼書を持参してください)
- その他 対象年齢でない人や料金の①～③に該当しない人は別途お問い合わせください。
- 問い合わせ 町立病院 ☎42-1231

検査は女性技師が
担当します



乳がん検診は町立病院で!!

町立病院では、2月末日まで乳がん検診ができます。

- 対象者 40歳以上の人(隔年受診)
- 検査内容 マンモグラフィ検査・乳腺エコー検査・触診(希望者とクーポン券持参の人のみ)
- 料金 上記と同様
- 申し込み・問い合わせ 平日の午前9時から午後3時までに電話または窓口にて申し込みください